

NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2020年3月23日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

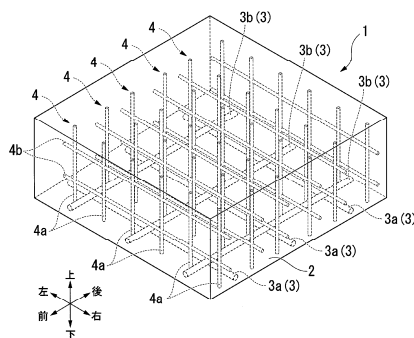
「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォーム：

[TOP](#) > [共同・受託研究](#) > [申込書／契約書](#) > [本学研究シーズの利活用の申込み](#) > [WEB](#) から

出願番号 2019-212221

整理番号 12251

担当者 小野 洋一

表題	鉄筋コンクリート床版		
発明の概要・応用	<p>【課題】鉄筋コンクリート床版にて、コンクリート層に外部から水が浸入した場合における耐疲労性の低下を抑制可能とする。</p> <p>【解決手段】板状のコンクリート層2と、コンクリート層2の内部に水平に配筋される鉄筋3とを備えるRC床版1であって、コンクリート層2の内部にて上下方向に延伸されると共に繊維強化プラスチックによって形成された鉛直方向筋4aを複数備え、コンクリート層2の厚さ方向中心から上方の上部領域と、コンクリート層2の厚さ方向中心から下方の下部領域と、のうちコンクリート層下部2bにのみ鉄筋3が配筋されている。</p>  <p style="text-align: center;">図1</p>		
発明の特徴・効果	<p>本発明においては、コンクリート層の上部領域と下部領域とのうち下部領域にのみ鉄筋が配筋されている。コンクリート層の内部へ浸入する水は、鉄筋コンクリート床版の上面に舗装されたアスファルト層を通過する経路にてコンクリート層の到達するものが多い。</p> <p>このため、主として水は、コンクリート層の上部から下部に向けて染み込むこととなる。これに対して、本発明においては、上部領域に鉄筋が配筋されていないため、コンクリート層に浸入した水が鉄筋に到達するまでの時間を長く確保することが可能となる。したがって、本発明によれば、水がコンクリート層に浸入しても塩害が生じることを抑制し、コンクリート層に腐食ひび割れが発生することを抑制することができる。また、上部領域において鉄筋がないため、その鉄筋周辺から発生するひび割れと砂利化を抑制することができる。</p>		
技術分野	土木・建築		



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp